

## 経済レポート

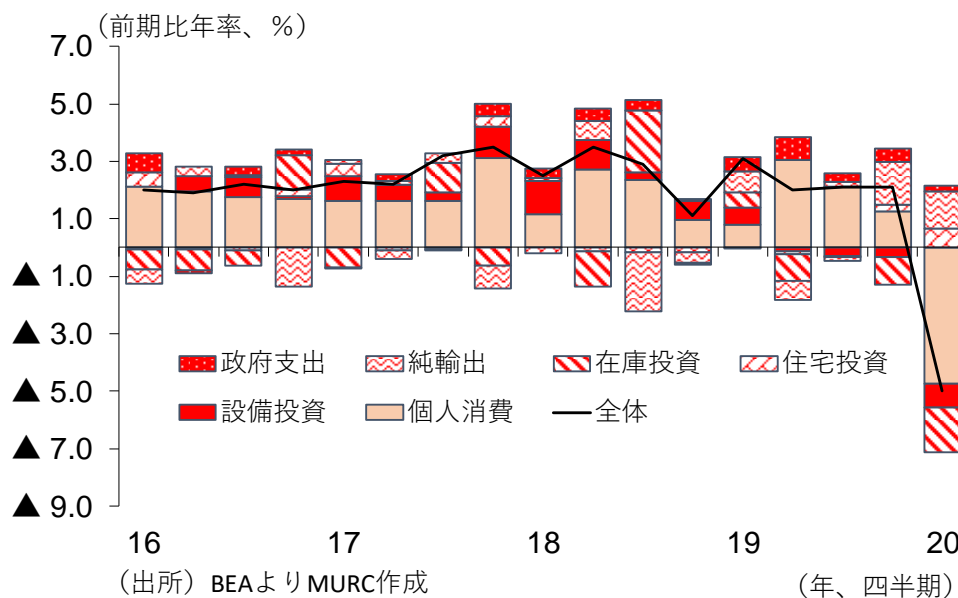
# 米国景気概況(2020年7月)

調査部

## 概況 ～ 景気は下げ止まりの兆しあるも感染拡大の懸念あり

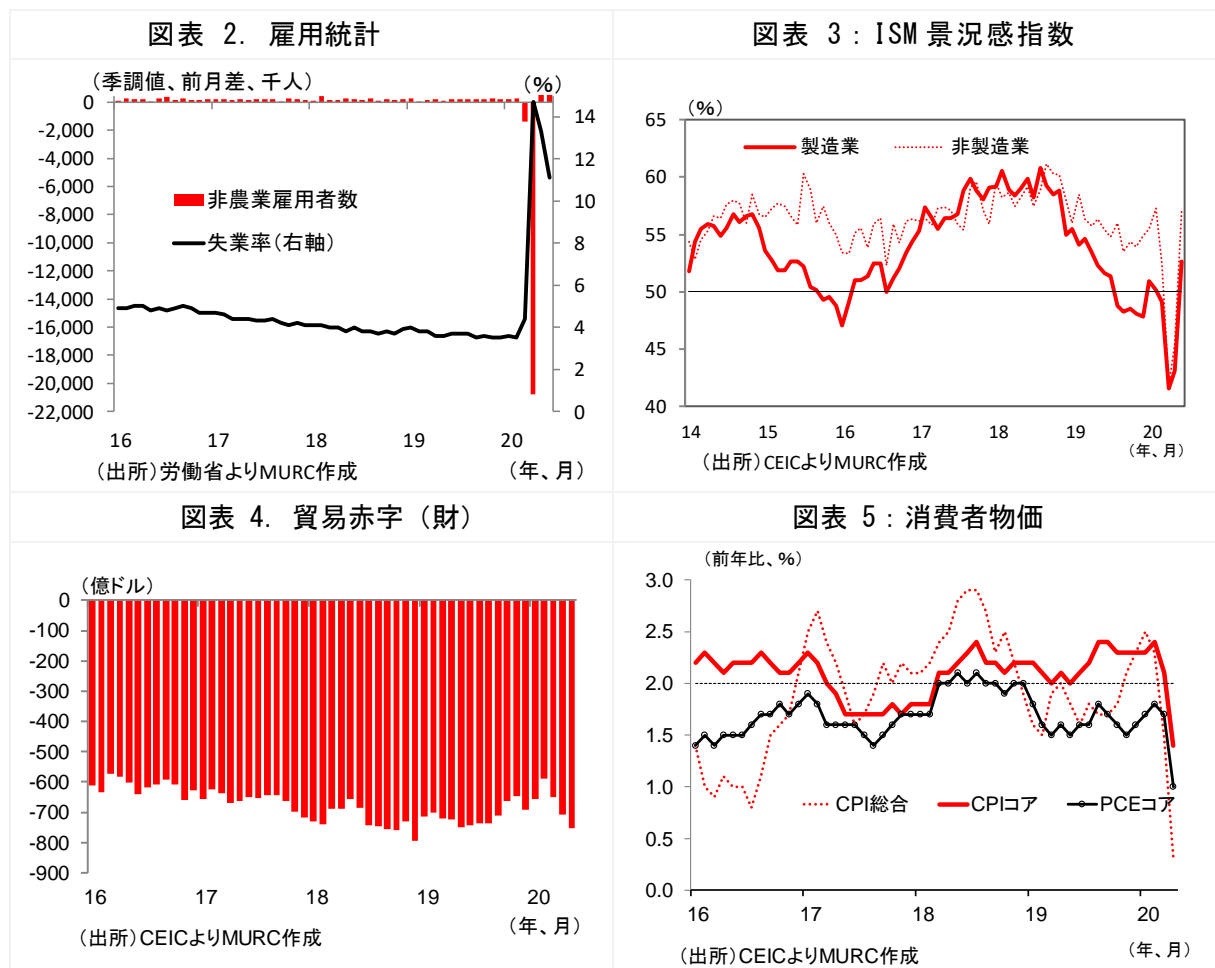
- ・ 米国経済は、1-3月期に急速に悪化したものの、足元では景気に下げ止まりの兆しがみられる。6月25日に発表された第1四半期の実質 GDP 成長率（確定値）は、前期比年率▲5.0%と、リーマンショック時の2008年以来の大幅マイナスとなった。需要項目別には、個人消費（同-6.8%）が最大のマイナス寄与に転じたほか、設備投資（同-7.9%）、在庫投資（-1.6%pt）の下押しが続いた。
- ・ 一方、足元では経済活動が段階的に再開され、経済指標に下げ止まりの動きがみられる。もっとも、このところ、新規感染者数が地域的な広がりとともに再び増加しており、経済活動の再開を取りやめる動きが広がっている。このため、経済指標の改善の動きは、しばらく足踏みする公算が大きい。

・ 図表1：実質 GDP 成長率の推移（確定値）



**【経済指標】**

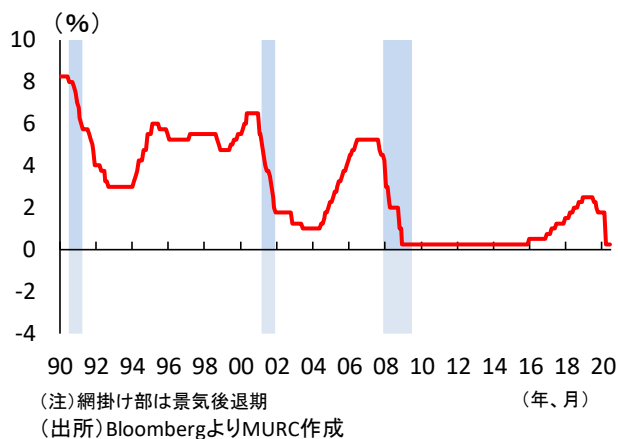
- ・ 6月の非農業部門雇用者数は前月差+480万人と2ヶ月連続で大幅増加、失業率も11.1%と高水準ながら小幅改善した（図表2）。業種別には飲食業、宿泊業が含まれる「娯楽・接客業」（209万人）、小売業（74万人）の増加が目立った。また、5月の実質個人消費は前月比+8.1%と4ヶ月ぶりに増加に転じた。
- ・ 企業部門では、5月の鉱工業生産は前月比+1.4%と、前月の大幅減少から増加に転じた。自動車関連産業の生産再開が寄与した。設備投資の先行指標である5月のコア資本財受注も同+2.3%と増加した。6月のISM景況感指数は、製造業が52.6と、好不調の判断の目安となる50の水準を4ヶ月ぶりに上回った（図表3）。
- ・ 海外部門では、5月の財輸入は前月比-0.6%と小幅減少したが、財輸出は同-5.8%と輸入を上回る減少となった。この結果、貿易赤字幅（財、▲753億ドル）は3カ月連続で拡大した（図表4）。赤字額を国別にみると、最大の赤字国である対中国（▲279億ドル）のほか、対カナダ（▲12億ドル）、対メキシコ（▲42億ドル）の赤字幅が拡大した。
- ・ 物価指標のうち、FRBが重視するコアPCEデフレーターは5月、前年比+1.0%と前月から横ばいで、2%の目標水準を大きく下回る動きが続いている。（図表5）。



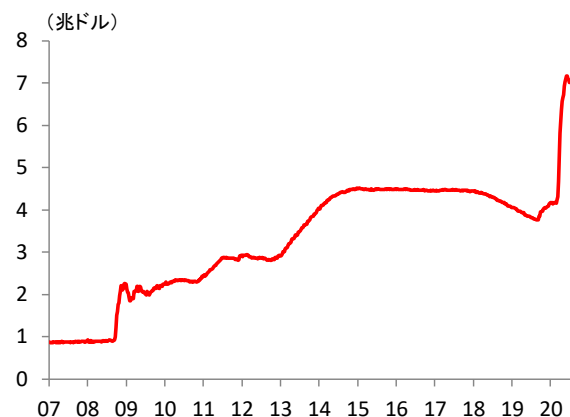
## 【金融政策・金融市場】

- 新型コロナウイルスの感染拡大で金融市場が混乱に陥る中、FRBは3月以降、連邦公開市場委員会（FOMC）で、ゼロ金利政策への回帰、資産購入額の無制限化、中小企業向け融資や社債購入策などを相次ぎ決定してきた。
- 6月のFOMCではゼロ金利政策の継続を決定し、同時に公表された各委員の経済・金利見通しによると、政策金利は2022年まで据え置かれる見通しが示された。また、量的緩和策については、少なくとも今後数ヶ月間、現在のペースでの資産購入を継続することが決定された。
- 今回のFOMCでは、短期・中期金利を低く抑えるため、米国債の利回りに上限目標を設定する手段（Yield Curve Caps or Targets）も話し合われたが、効果を疑問視する声も多く議論は先送りされた。
- 金融市場をみると、ダウ平均株価は3月を底に、経済活動再開観測から上昇基調を辿ってきたが、このところ新型コロナ感染再拡大への懸念から、上値の重い展開が続いている（7/2:終値25827.4ドル）（図表8）。こうしたなか長期金利は0.6%台後半で一進一退となっている（図表9）。

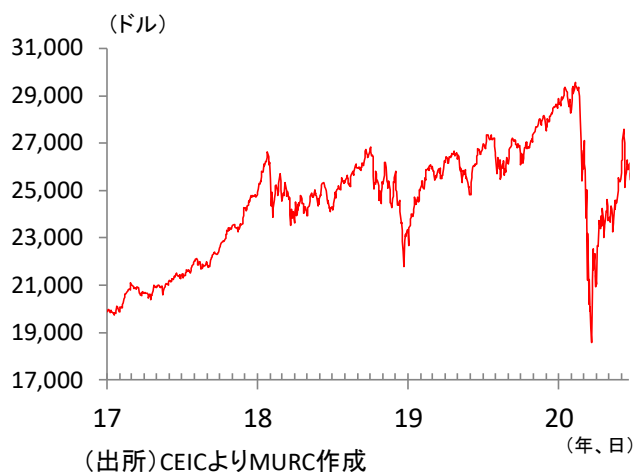
図表 6：政策金利



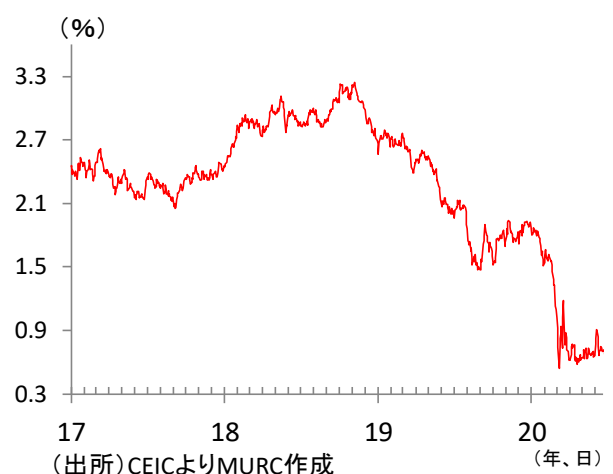
図表 7：FRB 総資産



図表 8：ダウ平均株価



図表 9：長期金利



ご利用に際して —

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

ご利用に際してのご留意事項を最後に記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:chosa-report@murc.jp